



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福  
 コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介  
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,582	13.0	300	42.3	538	25.1	324	29.2
2022年3月期第2四半期	27,073	16.6	211	△62.4	430	△44.8	251	△47.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 315百万円(44.8%) 2022年3月期第2四半期 218百万円(△70.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	56.36	—
2022年3月期第2四半期	43.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	38,205	17,590	45.3
2022年3月期	36,049	17,429	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 17,291百万円 2022年3月期 17,131百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年3月期	—	20.00			
2023年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,020	4.5	825	△11.0	1,131	△18.2	568	17.2	98.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	6,100,503株	2022年3月期	6,100,503株
2023年3月期2Q	347,969株	2022年3月期	329,369株
2023年3月期2Q	5,759,247株	2022年3月期2Q	5,783,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受けつつも、徐々に経済社会活動の制限が緩和され、景気は持ち直しの兆しがみられました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や急速に進んだ円安によって、輸入コストが上昇し、エネルギー価格や原材料価格が高騰するなど、国内景気に与える影響については、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策に努めるとともに、主力のエネルギー事業において、営業力の強化による燃料油やL Pガスの販売シェアの拡大に努めました。その一環として、5月に宮崎県内でL Pガス及び器具の販売等を行っている株式会社石井商店の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。

その他の事業につきましても、新規出店や既存店舗のリニューアルを進めるとともに、接客・サービスの更なる向上を目的に、社内研修を充実させ、お客様との関係性や信頼性の強化に努めております。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、エネルギー関連商品の販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は305億82百万円（前年同四半期比13.0%増）、経常利益は5億38百万円（前年同四半期比25.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億24百万円（前年同四半期比29.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した活動を継続するとともに、油外商品販売を強化し、利益の確保に努めました。

ガス部門では、ガスと電気需要家の新規開拓のため、一般需要家向けにガスと電気の紹介キャンペーンを実施しました。また、ダイレクトメール送付によるガス機器や住設器具の拡販セールを実施するなど、収益の確保に努めました。

以上の結果、エネルギー関連商品の販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、売上高は238億22百万円（前年同四半期比17.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は3億16百万円（前年同四半期比57.8%増）となりました。

#### 2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、コミック人気作品の新刊や映像作品、季節商材の展開拡大や、時代のトレンドに合わせた売り場を展開するなどお客様への訴求を強化しました。misumi STOREではA p p l e製品のモデルの発売に伴い、延長保証や周辺機器の併売強化に努めました。

オプシアミスミでは、プレミアム商品券販売やWEB応募型のキャンペーンの実施、SNSクーポン等を活用したSNS会員の獲得及びテナント情報発信の強化など販売促進の強化に努めました。

上記の通り販売促進に努めたものの、カルチャー店舗への客数減少等により、売上高は36億42百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は59百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

#### 3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F Cにおいて、店舗のリニューアルを進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、利便性の向上等を目的として、6月にK F C宮崎大塚店(宮崎市)を、9月にK F C南鹿児島店(鹿児島市)を移転オープンいたしました。

上記の施策を講じたものの、新型コロナウイルス感染症の規制緩和・解除による外食の分散化が影響し、売上高は31億17百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益（営業利益）は2億59百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (財政状態)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて21億56百万円増加し、382億5百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少する一方、株式会社石井商店の子会社化に伴い、のれん及び投資有価証券等が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて19億95百万円増加し、206億14百万円となりました。これは主に、買掛金が減少する一方、借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億60百万円増加し、175億90百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少する一方、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、借入金の増加27億2百万円、売上債権の減少13億26百万円等の資金の増加がありましたが、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得25億51百万円、固定資産の取得9億42百万円及び仕入債務の減少8億28百万円等の資金の減少により、前連結会計年度に比べ2億59百万円減少し、当第2四半期連結累計期間は31億27百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、5億87百万円(前年同四半期比27.4%減)となりました。これは主に、仕入債務の減少8億28百万円及び法人税等の支払い3億95百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少13億26百万円、税金等調整前四半期純利益5億52百万円等の資金の増加によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、34億9百万円(前年同四半期比174.4%増)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得25億51百万円及び固定資産の取得9億42百万円等の資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加額は、25億62百万円(前年同四半期比656.4%増)となりました。これは主に、借入金の増加27億2百万円の資金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日発表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,206,647	3,951,116
受取手形、売掛金及び契約資産	6,214,183	4,965,918
商品及び製品	2,979,069	3,091,459
仕掛品	3,560	16,958
原材料及び貯蔵品	14,630	14,904
その他	526,579	599,561
貸倒引当金	△9,193	△7,832
流動資産合計	13,935,477	12,632,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,218,910	4,390,870
土地	11,401,425	11,820,880
その他（純額）	1,326,667	1,876,486
有形固定資産合計	16,947,004	18,088,236
無形固定資産		
のれん	105,386	1,471,745
その他	221,525	187,338
無形固定資産合計	326,912	1,659,083
投資その他の資産		
その他	5,018,709	6,016,344
貸倒引当金	△178,956	△190,493
投資その他の資産合計	4,839,752	5,825,851
固定資産合計	22,113,669	25,573,171
資産合計	36,049,146	38,205,258
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,257,955	2,453,670
短期借入金	4,620,000	4,575,000
1年内返済予定の長期借入金	2,522,969	2,975,006
未払法人税等	338,085	187,694
賞与引当金	325,630	312,061
その他	1,433,124	1,316,839
流動負債合計	12,497,764	11,820,272
固定負債		
長期借入金	4,245,000	6,875,207
役員退職慰労引当金	759,620	769,545
その他	1,117,179	1,149,861
固定負債合計	6,121,799	8,794,614
負債合計	18,619,564	20,614,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	13,738,031	13,947,175
自己株式	△582,903	△615,624
株主資本合計	16,492,628	16,669,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583,103	571,265
退職給付に係る調整累計額	55,354	51,115
その他の包括利益累計額合計	638,458	622,380
非支配株主持分	298,494	298,939
純資産合計	17,429,581	17,590,371
負債純資産合計	36,049,146	38,205,258

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	27,073,779	30,582,843
売上原価	21,305,034	24,670,639
売上総利益	5,768,745	5,912,203
販売費及び一般管理費	5,557,495	5,611,546
営業利益	211,249	300,656
営業外収益		
受取利息	1,264	1,266
受取配当金	42,511	51,898
受取賃貸料	77,275	95,918
その他	151,387	150,406
営業外収益合計	272,439	299,490
営業外費用		
支払利息	24,913	32,694
賃貸費用	9,786	14,787
固定資産除却損	11,929	3,545
その他	6,330	10,375
営業外費用合計	52,960	61,403
経常利益	430,728	538,743
特別利益		
固定資産売却益	2,416	5,196
投資有価証券売却益	—	8,416
特別利益合計	2,416	13,612
特別損失		
減損損失	18,211	—
特別損失合計	18,211	—
税金等調整前四半期純利益	414,933	552,356
法人税、住民税及び事業税	130,649	162,993
法人税等調整額	27,124	57,447
法人税等合計	157,773	220,441
四半期純利益	257,159	331,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,885	7,348
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,274	324,565

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	257,159	331,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,276	△11,838
退職給付に係る調整額	△9,812	△4,397
その他の包括利益合計	△39,089	△16,236
四半期包括利益	218,070	315,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,309	308,488
非支配株主に係る四半期包括利益	5,760	7,189

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	414,933	552,356
減価償却費	383,834	371,703
減損損失	18,211	—
固定資産除却損	11,929	3,545
のれん償却額	22,859	57,473
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,915	9,689
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,530	△16,219
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,370	△140,074
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,734	△5,842
受取利息及び受取配当金	△43,775	△53,164
支払利息	24,913	32,694
固定資産売却損益(△は益)	△2,416	△5,196
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,416
受取保険金	△6,831	△406
売上債権の増減額(△は増加)	215,319	1,326,966
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,380	△113,922
仕入債務の増減額(△は減少)	59,275	△828,505
その他	81,232	△217,030
小計	1,170,185	965,651
利息及び配当金の受取額	42,590	51,974
利息の支払額	△24,977	△35,169
保険金の受取額	6,831	406
法人税等の支払額	△385,108	△395,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	809,521	587,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,602	△3,150
定期預金の払戻による収入	—	72,102
固定資産の取得による支出	△914,551	△942,110
固定資産の売却による収入	2,900	4,525
投資有価証券の取得による支出	△316,734	△17,405
投資有価証券の売却による収入	700	12,116
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,551,980
差入保証金の差入による支出	△13,942	△344
差入保証金の回収による収入	2,246	10,048
貸付金の回収による収入	765	676
その他	△359	5,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,242,578	△3,409,885

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	3,400,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△3,445,000
長期借入れによる収入	1,900,000	4,315,000
長期借入金の返済による支出	△1,441,834	△1,567,930
リース債務の返済による支出	△3,387	△2,015
自己株式の取得による支出	△14,938	△15,281
配当金の支払額	△144,317	△115,396
非支配株主への配当金の支払額	△6,744	△6,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	338,778	2,562,632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,277	△259,631
現金及び現金同等物の期首残高	3,642,490	3,387,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,548,212	3,127,711

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
(会計方針の変更)	
(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)	
「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。	

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,238,271	3,690,958	3,144,550	27,073,779	—	27,073,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,409	49,063	11	59,484	△59,484	—
計	20,248,680	3,740,022	3,144,561	27,133,263	△59,484	27,073,779
セグメント利益	200,253	67,579	312,587	580,420	△369,171	211,249

(注) 1 セグメント利益の調整額△369,171千円には、セグメント間取引消去1,992千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371,164千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,822,813	3,642,491	3,117,537	30,582,843	—	30,582,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,708	39,410	—	50,118	△50,118	—
計	23,833,522	3,681,901	3,117,537	30,632,961	△50,118	30,582,843
セグメント利益	316,003	59,200	259,860	635,064	△334,407	300,656

(注) 1 セグメント利益の調整額△334,407千円には、セグメント間取引消去1,675千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△336,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。